

Apr.
2009Pronet
Business
College

college news

『プロネットビジネスカレッジ2009』第9回目は「職場のメンタルヘルスケア」です。近年、精神障害等による労災請求件数・認定件数が増加の一途をたどっています。企業がうつ病の社員を生まないために心掛けることは？日頃からできるメンタルヘルスケアとはいったいどんなものなのでしょうか。

講座概要

講座名 : 職場のメンタルヘルスケア
開催日時 : 4月16日(木) 13:30~16:30
開催場所 : プロネットビル 研修室
講師紹介 : 井島 久美



産業保健メンタルヘルス
コーディネーター
井島 久美

12年間の社会人経験から発生した問題意識を、現実性の高い研究枠組みにまで発展させたいと考え、大学院へ進学。現在も「職場のメンタルヘルス活動を推進する要因」について研究を行っている。また、臨床の現場においても働く人々の心のケアからメンタルヘルス活動の導入・展開に携わっており、職場のメンタルヘルス対策についての研究・実践の専門家として活動中である。

講座内容

企業においてメンタルヘルス活動で得られるものとは
生産性の向上
リスク管理(企業イメージアップ)

企業においてメンタルヘルス活動の対象とは
管理職
一般社員
ハイリスク社員
等、すべてが対象となる。

人は育った環境、生まれ持った特質により考え方がさまざまである。相手に合った対処法が肝心。

受講生の声



講義中の井島講師



講義のようす

メンタルヘルスケアは不全者だけの問題ではなく、全員に必要なことだと思いました。うつや不全は誰にでも起こりうることで、その対応のスピードが求められること、そのためには体制をしっかりと整えることが大切だとわかりました。より良い意識の中で仕事ができ、全体の生産性、意識の向上につながると思いました。(運送業 女性)

個人の考えや経験に応じて物事に対する視点が変わることなど、頭でわかったつもりになっていることを体感できたのは大きな成果でした。部下と接する際などは、今以上に気配りをしていく必要を感じました。

(サービス業 男性)

社での活動に役立てたいと思います。これまではメンタルケアとしてしか考えていませんでした。会社にとって何か得られるか、といった視点がありませんでした。(サービス業 男性)

メンタルヘルス活動とは、元気な人がより元気になる活動というところが特に印象に残りました。元気な人がより元気になれば生産性も上がり、リスク管理、企業イメージも上がる。心と体が元気でこそ、よりよい仕事ができ、お客様に喜んでいただけることができた。そのためにメンタルヘルス活動が大切だとわかりました。

(建設業 女性)

お問い合わせは

株式会社プロネット 担当:佐藤・東
〒812-0007福岡市博多区東比恵2-7-14
TEL:092-474-7798/FAX:092-474-7071
<http://www.pronetjp.com>

【通信欄】5月の講座は下記のとおりです。

5月13日 OJTのしくみづくり①
5月21日 経営維新塾①
5月29日 実践!営業力強化①

